

## 第6回幼児教育実践学会 口頭発表 企画趣旨概要一覧

平成27年8月19日(水) 口頭発表【1】9:30~11:00 / 口頭発表【2】13:00~14:30

- ◆東北地区(秋田県):長谷川望(幼保連携型認定こども園外旭川わんわんこども園研究主任)、山名裕子(秋田大学教育文化学部こども発達・特別支援講座准教授)

テーマ:協同的なあそびと学び

26年度、27年度と2年間を通して、「協同的なあそびと学び」に関して研究を進めている。27年度は、特に砂場に焦点をあて、そこで展開される様々な主体的なあそびや人とのかかわりを丁寧に記録することによって、子ども一人ひとりの主体的なかかわりと、子ども同士のかかわりが深まる様子から具体的に考えていきたい。またそのような経験を支える教師の援助や環境構成もあわせて事例を通して考えていきたい。

- ◆関東地区(茨城県):加藤木忍(赤塚幼稚園教頭)、今井和子(元立教女学院短期大学教授)

テーマ:0, 1, 2歳児の発達と保育

今年度からスタートした子ども子育て支援新制度に伴い、幼保連携型認定こども園など、3歳未満児を受け入れる園が多くなりました。更に「0, 1, 2歳児を知らずして3歳児を語るなかれ」という声も聞こえてきます。今だからこそ、0, 1, 2歳児の育ちにスポットを当て、参加者が映像を通して同じ保育、同じ子どもの行動を見て、自由に話し合いながら、乳幼児理解を深めていきましょう。3歳未満児を受け入れていない園の先生方も一緒に0, 1, 2歳児の育ちを学び、3歳児の発達へとつなげていく手がかりにしてみませんか。

- ◆栃木県:井上高光(さつき幼稚園教諭)

テーマ:「じゃれつき遊びの実践」について

当園は、1978年に開園した。開園以来一年中冷水摩擦を実施してきたが、宇都宮市は当時11月になると急速に寒さが増し、園児が泣きながら「冷水摩擦嫌だ!」「幼稚園行きたくない!」と親に訴えて大きな問題となっていた。対策として「体の芯から温めるために、冷水摩擦前に暴れてみよう」と始まったのが、お相撲やプロレスごっこのような「じゃれつき遊び」(スキンシップ+遊び)である。「運動能力低下・肥満・目が合わない・愛着未形成・自己肯定感が乏しい」など、現代っ子の心身の大きな問題が1970年代より蓄積されてきた。それが、「東日本大震災」から4年を経過し福島県では一段と顕著になっているという。「じゃれつき遊び」を発見して35年を経過したが、こうした現代っ子の問題克服に「じゃれつき遊び」が役立つことが、1983年から毎年実施してきた「大脳前頭葉調査」(日本体育大学との共同研究)でも実証されている。哺乳類は、幼い頃「じ

やれ合って」仲間関係を構築していく姿に見られるが、人間の乳幼児期に相応し遊びであると考え。なお、「じゃれつき遊びの講演と実技」を福島県の5カ所の幼稚園で6月～7月に実施する。『脳を鍛えるじゃれつき遊び』(小学館)が2004年に出版されており、10刷2万部を超えている。『Common』(主婦の友社)の今年の4月号にも特集されている。

- ◆千葉県：請川滋大(日本女子大学家政学部准教授)、小河原信彦(めばえ幼稚園教諭)、田甫綾野(山梨大学大学院教育学研究科准教授)

テーマ：自発性を尊重した活動・遊びを通しての集団の育ち～5歳児の1年間の生活から～

5歳児の1年間の姿を追いながら、担任教師は集団の中でどのようにして子ども達の「個」を尊重し支えていったのか。また、個を尊重する保育をしながらいかにしてクラス集団を形成していったか、それらの点について報告したい。めばえ幼稚園では、子ども達が自ら選ぶ好きな遊びと、一年の中で行われる様々な行事を、子ども達の育ちの契機として大切にしている。これらの行事は、大きな枠組みは園側が提示しつつも、内容に関しては子ども達と教師と一緒に考え作り上げていく。このような1年間の生活を、子ども達のビデオや写真を交えながら紹介していきたい。

- ◆東京地区：永田陽子(大和郷幼稚園園長)、岡 健(大妻女子大学教授)

テーマ：地区における公開保育コーディネーター養成カリキュラムの開発

機構で推進している公開保育コーディネーターの養成は地区会に任されているが、よりよい養成のためのカリキュラムを東京地区会として開発する。また、このカリキュラムの開発を通して、幼児教育の質の向上のために相互に高めあう機会としていきたい。

- ◆神奈川地区：澤井政巳(新大船幼稚園園長)、相馬靖明(和泉短期大学児童福祉学科准教授)

テーマ：遊びを通しての指導に活かす保育の記録(Pedagogical Documentation)～研修の学びを実践化する～

企業を対象とした研修の学習転移(Transfer of Training)研究では「研修で学んだことの60%から90%は仕事には応用されない」が、研修の学習転移を促す要因として「研修内容の試行について上司のサポートがある・研修直後に試行する機会がある・研修成果の実践化を追跡・評価している・研修内容を実際の仕事に近づける」などが指摘されている。本研究では、上述の研究知見を踏まえて設計された「保育の記録に関する研修(神奈川県幼稚園連合会特別研究B部会2014～2015年度)」について報告する。

- ◆東海北陸地区（富山県）：波岡千穂（堀川幼稚園副園長）、開仁志（金沢星稜大学准教授）  
テーマ：保育のリーダーに求められるもの～園の課題を明らかにし解決していく力に着目して～

「保育」の質向上を支えるため、経験を積み幼稚園の中核を担う保育のリーダーを育てることが重要な課題となっています。保育のリーダーには様々なことが求められますが、本研究では、「園の課題を明らかにし解決していく力」に着目しました。そこで、まず園の課題をどう捉えているのかについてアンケート調査を行いました。その結果、①園長、②主任（教頭、主幹教諭）、③担任を受けもつ現場のリーダーという立場の違いからくる特徴が明らかになりました。次にその課題に対してどのような解決の方法をとっているのか、具体的な事例を基に考察を深めました。発表では、その成果と今後の課題について報告したいと思います。

- ◆長野県：宮崎 温（こどもの森幼稚園教諭）、佐久間孝行（こどもの森幼稚園野外教育指導員）、高橋健介（東洋大学准教授）、請川滋大（日本女子大学准教授）、竹村直記（上智大学大学院大学院生）、江上夕貴（日本女子大学学生部）

テーマ：道具の使用およびその援助による自然環境へのかかわりと学びの深まり～森のようちえん「こどもの森幼稚園」の保育実践より～

「こどもの森幼稚園」では飯綱高原の四季折々の豊かな自然環境へのかかわりを通して、幼児の学びや育ちを促すことを重視している。さらに、幼児が道具（クロスカントリースキー、ノコギリ、古い農機具など）を用いることで自然環境での遊びや活動を広げ、学びを深めていることが考えられる。本研究では、「こどもの森幼稚園」での道具の使用とその援助を検討することで、保育実践において道具を用いて環境にかかわることの意義について探求したい。

- ◆大阪地区：梅崎高行（甲南女子大学人間科学部総合こども学科准教授）

テーマ：発達を踏まえた保育実践—3歳児を対象として—

ここ数年、本園で取り組んできたプロジェクト・アプローチは、[子ども—職員]間の理解も広まり、一定の成果を上げつつある。一方、各プロジェクトが子どもの発達に応じた展開となっているかについては、依然、問うべき点も多い。そこで本研究では、入園児を卒園までフォローし、その実践を省察することを通して、発達を踏まえた保育実践について問い直すことを目指す。

◆中国地区（山口県）：安武香（認定こども園岩国東幼稚園教頭）、浅井拓久也（近畿大学豊岡短期大学講師）

テーマ：幼児の『いま・ここ』に息づく気付きを育む保育活動の試み～「気付き」の視点から、後伸びする幼・小の学びを具体化する保育活動のストラテジー～

どこまでも伸びようとする芽をどの子どもももっている。どこまでも伸びたいと切に願う芽がどの子にもある。しかし、この無限の可能性を秘めた子どもの芽は、放っておいたら双葉すら広げることができないかもしれない。大切にされなければ、じき、しおれてしまうだろう。では、子どもの芽は、どんなときに伸びるのか。それは、「確かな保育者の眼」に出会ったときである。本園では、幼児の『いま・ここ』に息づく「気付き」と、それを見抜く「保育者の眼」に視点を当て、幼・小の学びをつなぐ保育活動の新たな保育ストラテジーに迫りたい。

◆四国地区（香川県）：山之内美紀（香川短期大学附属幼稚園教諭）、常田美穂（香川短期大学子ども学科講師）

テーマ：ポートフォリオの取り組みを始めて見えてきたことと保護者との連携について

平成27年度からポートフォリオの取り組みを開始するために、前年度は保育記録に写真を活用しながら、どのようにポートフォリオを進めていくかについて記録をもとに話し合い理解を深めてきた。4月にはその取り組み方や保護者との連携の仕方について共通理解を図り開始に備えた。まだ取り組みを始めたばかりではあるが、継続していくために必要なことはどのようなことか等見えてきたことについて保護者アンケートも含めて考察したい。

◆福岡県：鳥越奈々子（ときわ幼稚園主任）、鬼塚良太郎（九州龍谷短期大学保育学科准教授）

テーマ：保護者の心を開く特別支援

保護者との信頼関係づくりや連携の在り方は、特別支援の大きな課題である。保育者は、特別登園を必要とする子どものために、保護者とどうかかわればよいかを具体的な事例を元に考察したい。

平成27年4月8日現在